

事業所における自己評価結果（公表）

別紙3

公表：令和 4年 4月 1日

事業所名

サンケア 太陽ジャム

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		活動により、区切る、分けるをしています。	法令を遵守したスペースを確保しています。
	②	職員の配置数は適切である	○			法令で必要とされている配置数に加え、指導員を1名以上配置しています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		段差があるところは段差プレートで安全配慮をしています。	活動内容、時間をホワイトボードに予定を記載し見通しが持てるようにしています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		活動に合わせて、部屋の使い分けをしています。	新型コロナウイルス感染拡大を受けて、清掃・消毒を念入りに行っています。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		事後報告でも良いので、気になった事は伝えてもらうよう指導員に声を掛けています。	活動後のミーティングにて振り返りを行っています。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			保護者へのアンケート調査結果を受け、業務改善に向けた見直しを行い、業務の改善に繋げています。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		昨年度より、ホームページでも公表しております。	平成29年度より掲示、配布で公開しています。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		現在は利用者・事業所内の2者評価をとっております。課題でもある第三者による外部評価については、現在実施の予定がありませんが、必要に応じて実施を検討してまいります。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している		○	数少ない研修の中、日々の話し合いで内容を少しずつ話しています。	随時外部の研修を掲示し、参加を促していますがコロナ禍でなかなか確保が難しい状況です。
適切な	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		コロナ禍の為、電話での面談も行っています。	定期的に保護者と面談を行い、子どもの姿を共有した上で支援計画の作成を行っています。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○		標準化されたアセスメントツールを使用できるまでに至っておらず、今後の課題と考えます。

支援の提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			本年度もコロナの影響もあり地域の繋がりが持つことが出来ませんでした。職員全体で取り組んでいく体制づくりを行い、支援計画には保護者や本人関係機関の聞き取りのもと、作成していきます。
-------	---	--	---	--	--	---

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		児童発達支援計画作成後は、指導員全員で共有しています。	児童発達支援に基づいた支援を行っている。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			月1回、活動の立案をし、その後細かい設定をしています。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		話し合いの中、活動の固定化がないかのチェックをしています	各日のリーダーを決めて、活動の内容も話し合っています。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○			子どもの特性に応じて計画を作成しています。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		想定される内容についても、すぐに対応できるように話し合っています。	各日のリーダーを決める事で活動の内容も話し合い、役割分担も決めています。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		ミーティング会議録を作成して保管しています。	活動後には、ミーティングを行っています。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			必ず記録を付けております。活動後には、ミーティングを行い、情報を共有しています。
	⑳	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			定期的モニタリングを行い、お子様の成長に合わせた、支援の見直しを行っています。
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		会議前には、話し合いを行い、情報の共有をして、会議に臨んでいます。	担当者や児童発達支援管理責任者が参加をしています。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			連携を行っているが、関係機関と連携出来るようにしていきます。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○			該当者がいない為【いいえ】とさせていただきます。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○			該当者がいない為【いいえ】とさせていただきます。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			例年、子どもの様子や保護者の要望に応じて、発達記録を通じて子どもの姿を共有できるようにしています。また、幼稚

との連携					園や学校に訪問し、個々のニーズや目標を相互理解ができるようにしていますが、今年度もコロナの影響もありましたので、次年度への課題になります。	
	②6	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		例年、子どもの様子や保護者の要望に応じて、発達記録を通じて子どもの姿を共有できるようにしています。また、幼稚園や学校に訪問し、個々のニーズや目標を相互理解ができるようにしていますが、今年度もコロナの影響もありましたので、次年度への課題になります。
	②7	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		動画での研修を受けるのみとなったので、ウィズコロナでの良い方法を考えていきたいです。
	②8	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		今年度はコロナの影響もあり、磯城郡での自立支援協議会のイベントもなくなり交流をする機会はありませんでした。

保護者への説明責任等	②9	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加している		○		磯城郡での自立支援協議会の子ども支援部会に参加しています。
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている		○	気になる事があれば、直接電話にて確認することもございます。	送迎時や連絡ノートを通じて、家族の方との情報共有を行っています。
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている		○		ペアレントトレーニングの研修は、実施出来ておらず今後の課題です。
	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている		○	後日の質問にもしっかりと対応しています。	面接時・契約時に紙面、口頭で説明しています。
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている		○		モニタリングに基づき、支援計画を立案し計画を示しながら同意を得ています。
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている		○	遅い時間でも、保護者様の都合のよい時間で対応するようにしています。	随時対応しています。
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		今年度もコロナの影響があり交流ができる場を持つことができませんでした。
	③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している		○	遅い時間でも、保護者様の都合のよい時間で対応するようにしています。	相談は随時受け付けており、必要に応じて行っています。
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○		活動概要や行事予定については予定表に記載していますが、会報まででは作成できていません。

	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	○			個人情報の取扱いについて指導員に管理徹底を周知しています。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			個々の利用者様に応じて、伝達方法を工夫したり、家庭や園との連携をはかりながら今後も配慮を行っています。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		以前は地域の行事や磯城郡自立支援協議会のイベントに参加をしたり、公共の施設を利用することで地域との交流をはかっていましたが、今年度もコロナの影響があり、次年度への課題となっております。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			各マニュアル策定は行っているが、実情に沿っているかを今後も検討していくと共に、職員も十分に内容を把握するよう努めていきます。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		○		回数が少なかったため、定期的に避難訓練を行えるように今後も計画を立てて行っていきます。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○			契約時にお渡しする利用登録票を通じて、服薬、予防接種などについて情報収集を行っています。また年度始めに更新した登録票を配布し再度確認を行っています。登録票を通じて職員に周知しています。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			契約時にお渡しする利用登録票を確認したうえで、食物アレルギーに関わらず、その他のアレルギーに対しても、アレルギー確認書にて詳しい内容を記入いただき、周知しています。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			ヒヤリハット事例が起こった場合は報告書を作成、保管し、職員間で回覧、共有しています。必要な時にはより詳しく口頭で伝えています。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			虐待についての理解を深めるため研修に参加し、職員にも周知しています。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		○		身体拘束を行う事案が現在ありませんが、虐待防止の研修で得た身体拘束の内容を伝えています。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。